

福岡県労連

KEN ROREN

ZENROREN

2017

8月号

No.130

発行所 福岡県労働組合総連合
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南
1-9-8 ケイ・アイビル 2F
☎092-433-1833 FAX092-433-1822

編集発行
福岡県労働組合総連合

福岡県労連 検索

〔定価〕
1部 10円

ホームページ 単産・単組の専用ページパスワード：kenpoukaiaiku (9/1～9/30)

原水爆禁止2017年世界大会 核兵器のない平和な世界をめざして



今年も8月3日の国際会議を皮切りに、「原水爆禁止2017年世界大会」が広島、長崎で開催されました。被爆72年を迎えた今年の世界大会は、7月7日に人類史上初めて核兵器を違法化した「核兵器禁止条約」が国連で採択されたことを受け、世界各国からの政府代表、国連機関代表、市民団体代表、日本国内からも被爆者をはじめ核兵器廃絶を求める多くの市民が参加しました。

被爆者の願いが結実

被爆の実相を語り継ぎ、「生きていくうちに核兵器の廃絶を」と願い、運動を進めてきた被爆者の取り組みが「核兵器禁止条約」を結実させたこと、世界の市民運動がそれを後押ししたことなどが報告され、「核兵器禁止条約」の早期発効を目指す

「原水爆禁止2017年世界大会-長崎」では、開会総会で中満泉国連軍縮問題担当上級代表が発言し、「核保有国およびその同盟国には、軍縮への道を踏めるのかを真剣に考えていただかなければならない」と述べ、

「核兵器禁止」条約は、被爆者のみなさんの長年の取り組みが結実したものだ」として、「国連は核兵器のない世界という目標へ具体的な歩みを進めるため、すべての国々や市民社会と協力し、一層努力したい」と述べ、大きな拍手に包まれました。

また、田上富久長崎市長もあいさつし、「平和の種を宿した皆さまにエールを送ります。小さな声を大きな声にして、核兵器のない世界を一日も早く実現しましょう。一緒に頑張ります」と呼びかけました。

核抑止論に固執する首相

一方、核保有国や核の傘の下にある国々は、世界の核兵器禁止の大きな流れに反して、核兵器禁止条約に背を向け続けています。唯一の戦争被爆国である日本の安倍首相は、8月6日の広島市の平和式典や被爆者団体との懇談で、核兵器禁止条約を否定し、「核抑止論」に固執する姿勢を示したことに

対し、世界大会参加者からも失望と批判の声が相次ぎました。化学兵器や生物兵器と同じように、核兵器を違法化する核兵器禁止条約を発効させ、日本政府に批准させるための運動を大きく広げるために、「ヒバクシャ国際署名」の取り組みを更に強めていきたいと思います。

2017国民平和大行進 (北九州地区の取り組み) 核兵器廃絶に向け一歩一歩



反核平和マラソンランナーに千羽鶴をたくして

八幡西区長が
歓迎挨拶

門司駅で歌声の歓迎

1958年の開始以来、国民平和大行進は、雨の日も酷暑の日も「核兵器廃絶を願う」歩み続けています。今年も7月7日、国連で「核兵器禁止条約」が122カ国の賛同で採択された中で、行進となり、参加者を勇気づけています。

7月17日に広島から長崎へと向かう行進団が門司に到着し、門司駅では「大川うたう」が平和の歌声で歓迎をしました。門司の行進団には、連合の間も参加し、運動の広がりを実感しました。19日は、八幡東区の荒手バス停から黒崎駅まで、炎天下の中、4人の通し行進者と平和の願いを込めた折鶴をランナーに託しました。(永富)

この本がおすすめ
石黒 拓親 著
『2時間でおさらいできる日本史』



3〜4年前に本屋で見つけて購入しました。日本史は私にとって、中学・高校時代、テストで高得点がとれる好きな教科でした。あれから十数年、日本史の記憶もすっかり薄れてきた私に、強い興味をひきつけてくれるタイトルでした。内容は旧石器時代から、この本が出版された2010年当時の民主党政権に至る歴史の動きを見開き1時間ぐらいいの配分でざっくり解説してくれています。タイトルの通り、短い時間で一気に読めるので、一つ一つの出来事が、過去を根拠に成り立ってきたという、歴史をひとつなぎで感じることができる本です。老若男女、日本史が苦手な方も、すべての人が楽しめる内容かもしれませんよ。(はやしだ こういち)

県労連第28回定期大会 すべての議案が承認される

仲間を増やし、8時間働けば人間らしく暮らせる社会を



福岡県労連は、台風5号が九州に接近する8月6日、福岡市内で第28回定期大会を開催しました。大会は、7月5日の九州北部豪雨災害で無念の最後を遂げた組合員とOBに対して黙とうを捧げたあと、建交労・秀島代議員と筑後地区労連・熊野代議員を議長に選出し始まりました。



組織拡大3カ年計画を承認

幹事会を代表して福岡県労連議長は「豪雨災害において国と県の役割を指摘し、憲法改悪を阻止するために頑張ろう」と挨拶しました。

来賓として全労連・岩橋副議長、県弁護士会・甲斐田副会長、日本共産党・田村衆議院議員から挨拶を頂き、福岡県小川知事外のメッセージは、大会会場内に張り出されました。



大会成立の確認に続いて議案提案が行われ、小川事務局次長から、第1号議案「16年度経過報告」第3号議案「16年度決算報告」第4号議案「17年度予算案」が、門馬事務局次長から組織拡大の飛躍と誰もが8時間働けば人間らしい暮らしを実現し、安倍政権を退陣に追い込み、改憲策動と戦争する国づくりをストップさせる取り組みを中心とした内容の第2号議案「17年度運動方針案」第5号議案「組織拡大3カ年計画案」第6号議案「規約改正(予備提案)」が行われました。

各単産から18人の発言

討論では、「争議」「賃金・労働条件改善」「組織拡大・強化」などの取り組みについて、各単産から18人の活発な発言(文書発言1人)が行われました。



道下 哲也

組織拡大が最大の目標

出身はJMITUで、北九州地区労連で事務局長を2012年から2017年まで5年間務めました。安倍首相の労働法制改悪が進められようとしている現在、たまたか労働組合が先頭にたつて労働者の権利を守る取り組みが求められています。そのような

新事務局長に、道下哲也氏(JMITU福岡地本)

新四役(敬称略)

議長	江口 謙二	福建労(再)
副議長	内田 大亮	福岡地区労連(再)
副議長	懸谷 一	自治労連(再)
副議長	門馬 睦男	医労連(新)
副議長	山下 和博	国公県協議会(再)
副議長	渡辺 浩司	民放労連KBC労組(新)
事務局次長	道下 哲也	JMITU福岡地本(新)
事務局次長	小川 マリ子	エフコープ生協労組(再)
事務局次長	福山 慶司	福建労(新)

各単産24人の参加で支援ボランティア

九州北部豪雨災害

県労連は、8月11日朝倉市にボランティアに入り、ボランティアセンターに紹介された平榎地区で2班に分かれ、主に「泥かき」を中心に作業を行いました。当日は、福建労、県国公、医労連、自治労連、自治労連から、24人が参加しました。引き続き、ボランティアを募集しています。詳細は、県労連まで。

ボランティアに参加した感想

Aさん 自治労連 スコップで掻き出す泥がとにかく重い。どこもかしこも泥が入りこんでいて、開かない引き戸が開いた時はちょっと感動しました。蟻が家具の下に巣を作っていたのは驚きました。実際に見て改めて災害の凄まじさ、自然の怖さを痛感しました。体力的に持つか不安でしたが、無事やり遂げられて一安心です。

Bさん 自治労連 このお宅でした。まず仏間から2間のご希望で8畳の泥を14人がかりで2トングン3杯分かきだし畳や家電と廃棄しました。1日がかりでしたが他の洋室や床下の泥なども手付かずです。とても個人や家族で解決できるような状況ではありませんでした。引き続きボランティアが重要です。



Cさん 福岡地区労連 私を含む11人は朝倉市平榎地区のお宅に被災地ボランティアに入りました。家の中まで土砂が流れ込んでおり、泥の下の砂利が掘りにくく思ったようにはかどらず、目標の3分の2ほどしか土砂を運び出すことができません。豪雨災害が発生した時の話を聞くと、山の地滑りは所々で起き、植林が轟音を立てて流されるときは恐ろしい思いをしたそうです。奥さんとお母さんはずっと手を合わせて祈るばかりで、ご近所の独居のおばあちゃん、自宅が流される様子を見て、雨の中で泣き崩れていたそうです。私たちがボランティア隊が帰るとき、家主は男泣きに泣きながら「ありがたい。ありがとうございます」と感謝をしていました。

Eさん 自交総連

ブドウや柿、新鮮な野菜を買いに何度も足を運んでいた朝倉市の悲惨な状況をテレビで見ても何となく不安な気持ちで参加しました。現場に行けば、こんな私にも出来る作業があり、柿農家の方の家で床下の泥をかき出してきました。一日も早く以前の笑顔豊かな朝倉に戻れるように、私もまたボランティア活動に参加しようと思いました。



Dさん 16歳・高校生 高校2年生の僕は、生まれて初めてボランティア活動に参加する事ができました。8月11日は母に連れられ、朝倉市杷木地区の農家のおじさんの家の土砂を大人の手に混じってスコップと一輪車で何度も運びました。泥と大きな石が家に押し寄せ、一日中運ん